

商品名: AllView PAGE Buffer<sup>®</sup> / DynaMarker<sup>®</sup> Protein MultiColor Stable II set English version

商品コード: DS522



構成物

	AllView PAGE Buffer <sup>®</sup> (2 ページ参照)	DynaMarker <sup>®</sup> Protein MultiColor Stable II (5 ページ参照)
商品コード	DS520S	DM660S
ロット番号	*****	*****
容量	50 mL (20 × 濃縮液)	100 μL
保存条件	室温* (遮光下)	4°C
保存期限	室温で 2 年	4°Cで 12 ヶ月

\*AllView PAGE Buffer<sup>®</sup> (DS520S)は室温保存です。本製品をお受け取りになりましたら、AllView PAGE Buffer<sup>®</sup> (DS520S)を室温に移してください。

## AllView PAGE Buffer®

### 特徴

AllView PAGE Buffer®は新しいタイプの SDS-PAGE 用泳動バッファーです。Laemmli 法 (Tris-HCl)で作製したゲルと本製品を用いて電気泳動することにより、グラジエントゲルのように広範囲のタンパク質の分離を行うことができます。分離ゲル 6%、濃縮ゲル 3%の推奨アクリルアミドゲルを用いることで、約 10 kDa から 250 kDa のタンパク質を分離することができます。電気泳動後のゲルはそのまま CBB 染色、銀染色、ウェスタンブロットティングなどに使用することができます。

### プロトコル

- AllView PAGE Buffer®を超純水で 20 倍希釈します。  
(例: 25 ml の AllView PAGE Buffer®に 475 ml の超純水を加える)
- ゲルを電気泳動槽にセットします。
- 電気泳動槽を 1 × AllView PAGE Buffer®で満たします。
- サンプルをアプライします。
- 泳動をスタートします。

ゲル	電圧	泳動時間
ミニゲル (8 × 10 cm, 厚さ 1 mm)	250 V (定電圧)	15 分

### 注意点:

- AllView PAGE Buffer®は Laemmli 法 (Tris-HCl)で自作したゲルに最適化されています (下記『推奨条件』をご覧ください)。
- プレキャストゲルでご使用の場合、種々の添加物質により至適なアクリルアミド濃度が異なる場合や、十分に分離ができないことがあります。一度お試しの上ご使用ください。
- ご使用になった AllView PAGE Buffer®希釈溶液の再利用はしないでください。
- AllView PAGE Buffer®は 20 × 濃縮液です。1 × に希釈してご使用ください。
- SDS が析出した場合、37°Cのウォーターバス等で完全に沈殿を溶解させた後、室温に戻してからご使用ください。
- 至適泳動時間はアクリルアミド濃度やゲルのサイズ、電圧によって変化します。そのため、泳動状態の確認のためにも着色済み分子量マーカのご使用をお勧めします。  
(例 DynaMarker® Protein MultiColor Stable II, 商品コード:DM660)
- 1 つの泳動槽で 2 枚同時に泳動またはサイズの大きいゲルにて泳動する場合、泳動時の発熱などを防ぎ、より綺麗な泳動像を得るため、あらかじめ AllView PAGE Buffer®希釈溶液を冷蔵庫などで冷却してのご使用、さらには冷蔵室内で泳動することをお勧めします。

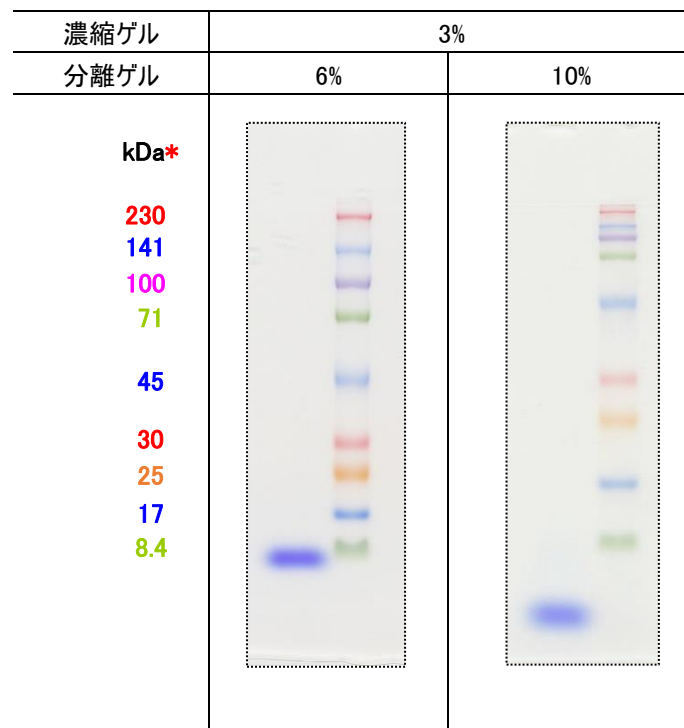
### 推奨条件

推奨アクリルアミド濃度は、分離ゲル 6%、濃縮ゲル 3%となります。この条件で約 10 kDa から 250 kDa のタンパク質を分離することができます。特に低分子領域(10 kDa~30 kDa)のタンパク質の分離が必要な場合は、10%分離ゲルのご使用をお勧めします。

#### 1. ゲル作製 (Laemmli 法)

表 1. 濃縮ゲルおよび分離ゲルの作製 (ミニゲル 2 枚の場合)

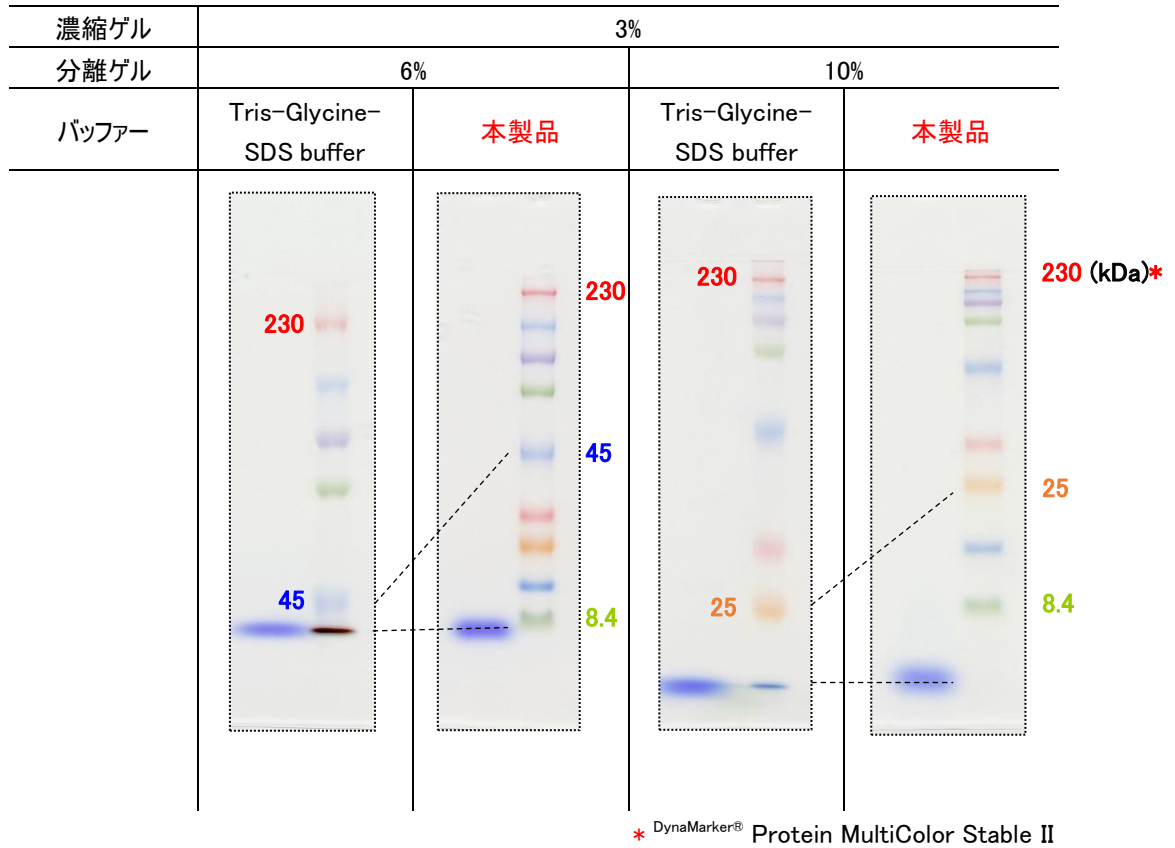
ゲル濃度	濃縮ゲル (6 ml)		分離ゲル (15 ml)	
	3%	6%	6%	10%
超純水	3.9 ml	8.05	8.05	6.05
1.5M Tris-HCl (pH8.8)		3.75	3.75	3.75
0.5M Tris-HCl (pH6.8)	1.5			
30% Acrylamide/Bis solution	0.6	3.0	3.0	5.0
10% SDS	0.06	0.15	0.15	0.15
TEMED	0.003 (3 $\mu$ l)	0.00375 (3.75 $\mu$ l)	0.00375 (3.75 $\mu$ l)	0.00375(3.75 $\mu$ l)
10% APS	0.06	0.05	0.05	0.05



\* DynaMarker® Protein MultiColor Stable II

## 2. 泳動像

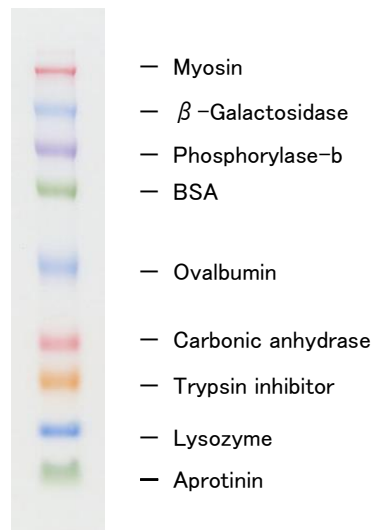
以下の図は AllView PAGE Buffer<sup>®</sup>と Laemmli 泳動バッファー(Tris-Glycine-SDS)の泳動の違いを表しています。このように AllView PAGE Buffer<sup>®</sup>と Laemmli 法 (Tris-HCl)で自作したゲルの組み合わせによって、グラジエントゲルのような広範囲の分離が得られます。



## DynaMarker® Protein MultiColor Stable II

### 特徴

DynaMarker® Protein MultiColor Stable II は着色済みタンパク質分子量マーカーです。4℃保存可能という特徴を持っており、常に液体状態であるため、速やかにゲルへアプライし電気泳動を開始することができます。本製品は9種類の着色済み天然タンパク質で構成され、見かけ分子量は約8 kDa から230 kDa の範囲で、赤、青、紫、緑、橙に着色されており、電気泳動中に確認することができます。そのため電気泳動のモニタリングやメンブレンへの転写効率を確認することに適しています。各バンドのタンパク質量は、バンドの視認性が均一になるように調製されています。本製品はすでにゲルローディングバッファーが添加されているため、加熱処理や還元剤添加は不要で、そのままアプライし泳動することができます。



DynaMarker® Protein MultiColor Stable II (10 μl) の泳動像

ゲル: 6% polyacrylamide (5% C)

泳動バッファー: AllView PAGE Buffer

### プロトコル

1. 本製品を冷蔵庫から取り出します
2. 本製品を10 μl アプライします(ミニゲルの場合。ラージゲルの場合は10 μl 以上推奨)
3. 試料をアプライします
4. 電気泳動を開始します

**注意:** 加熱したり還元剤を加えたりする必要はありません。

## 構成タンパク質

タンパク質	見かけ分子量 (kDa) *	
	Tris-Glycine-SDS buffer (Laemmli 法泳動バッファー)	AllView PAGE Buffer® (商品コード: DS520S)
Myosin	249	250
$\beta$ -Galactosidase	137	141
Phosphorylase-b	96	100
BSA	73	71
Ovalbumin	46	45
Carbonic anhydrase	31	30
Soybean trypsin inhibitor	26	25
Lysozyme	18	17
Aprotinin	6.3	8.4

見かけの分子量はロットごとに異なります。ご購入いただいた製品に添付されて  
おりますデータシートをご覧ください。

**注意:** 共有結合した色素はタンパク質の移動度に影響を与えるため、本製品はロットごとに未着色タンパク質分子量マーカーを基準に見かけ分子量を算出しています。本製品を用いてお手持ちの試料の分子量を概算することはできますが、正確な分子量の測定には未着色タンパク質分子量マーカーをご使用ください。

\*: 見かけ分子量はロットや使用する泳動バッファーごとに異なります。